## 東京都立石神井高等学校 令和5年度 教科 ( 英語 ) 科目 ( 英語表現Ⅱ ) 年間授業計画

教 科: 英語 科目: 英語表現Ⅱ 単位数: 2単位

対象学年組: 第3学年 A組~G組

教科担当者: (A組: 増岡)(B組: 和田)(C組: 広瀬)(D組: 増岡)(E組: 増岡)(F組: 中山)(G組: 和田)

使用教科書: Vision Quest English Expression II Ace

使用教材 : Vintage 3rd Edition Drive

	指導内容	英語表現 II 具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
	時制·受動態	入試の過去問題を解答させ、正答率を上げるようにさせる。 既習事項の内容でも理解が 不十分なところがあれば各自把握させる。	事前に範囲を提示し、単元ごとの 小テストを授業の初めに毎回行い、 理解度を評価する。	2
4 月	助動詞·仮定法	入試の過去問題を解答させ、正答率を上げるようにさせる。 既習事項の内容でも理解が 不十分なところがあれば各自把握させる。	事前に範囲を提示し、単元ごとの 小テストを授業の初めに毎回行い、 理解度を評価する。	2
	不定詞	入試の過去問題を解答させ、正答率を上げるようにさせる。 既習事項の内容でも理解が 不十分なところがあれば各自把握させる。	事前に範囲を提示し、単元ごとの 小テストを授業の初めに毎回行い、 理解度を評価する。	2

	指導内容	英語表現 II 具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
	動名詞·分詞	入試の過去問題を解答させ、正答率を上げるようにさせる。 既習事項の内容でも理解が 不十分なところがあれば各自把握させる。	事前に範囲を提示し、単元ごとの 小テストを授業の初めに毎回行い、 理解度を評価する。	2
5 月	関係詞・接続詞	入試の過去問題を解答させ、正答率を上げるようにさせる。 既習事項の内容でも理解が 不十分なところがあれば各自把握させる。	事前に範囲を提示し、単元ごとの 小テストを授業の初めに毎回行い、 理解度を評価する。	2
	定期考査			1
	前置詞	入試の過去問題を解答させ、正答率を上げるようにさせる。 既習事項の内容でも理解が 不十分なところがあれば各自把握させる。	事前に範囲を提示し、単元ごとの 小テストを授業の初めに毎回行い、 理解度を評価する。	2

	指導内容	英語表現 II 具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
	前置詞	入試の過去問題を解答させ、正答率を上げるようにさせる。 既習事項の内容でも理解が 不十分なところがあれば各自把握させる。	事前に範囲を提示し、単元ごとの 小テストを授業の初めに毎回行い、 理解度を評価する。	2
	比較	入試の過去問題を解答させ、正答率を上げるようにさせる。 既習事項の内容でも理解が 不十分なところがあれば各自把握させる。	事前に範囲を提示し、単元ごとの 小テストを授業の初めに毎回行い、 理解度を評価する。	2
6 月	主語と動詞の一致・疑問文	入試の過去問題を解答させ、正答率を上げるようにさせる。 既習事項の内容でも理解が 不十分なところがあれば各自把握させる。	事前に範囲を提示し、単元ごとの 小テストを授業の初めに毎回行い、 理解度を評価する。	2
	否定・倒置・省略・強調	入試の過去問題を解答させ、正答率を上げるようにさせる。 既習事項の内容でも理解が 不十分なところがあれば各自把握させる。	事前に範囲を提示し、単元ごとの 小テストを授業の初めに毎回行い、 理解度を評価する。	2
	動詞の語法	入試の過去問題を解答させ、正答率を上げるようにさせる。 既習事項の内容でも理解が 不十分なところがあれば各自把握させる。	事前に範囲を提示し、単元ごとの 小テストを授業の初めに毎回行い、 理解度を評価する。	2

	指導内容	英語表現 II 具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
	定期考査			1
	動詞の語法	入試の過去問題を解答させ、正答率を上げるようにさせる。 既習事項の内容でも理解が 不十分なところがあれば各自把握させる。	事前に範囲を提示し、単元ごとの 小テストを授業の初めに毎回行い、 理解度を評価する。	2
7 月	動詞の語法	入試の過去問題を解答させ、正答率を上げるようにさせる。 既習事項の内容でも理解が 不十分なところがあれば各自把握させる。	事前に範囲を提示し、単元ごとの 小テストを授業の初めに毎回行い、 理解度を評価する。	2

	指導内容	英語表現 II 具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
8				
月				

	指導内容	英語表現 II 具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
	名詞・代名詞の語法	入試の過去問題を解答させ、正答率を上げるようにさせる。 既習事項の内容でも理解が 不十分なところがあれば各自把握させる。	事前に範囲を提示し、単元ごとの 小テストを授業の初めに毎回行い、 理解度を評価する。	2
9 月	形容詞・副詞の詩法	入試の過去問題を解答させ、正答率を上げるようにさせる。 既習事項の内容でも理解が不十分なところがあれば各自把握させる。	事前に範囲を提示し、単元ごとの 小テストを授業の初めに毎回行い、 理解度を評価する。	2
	東加討中ルンのイナイオル	入試の過去問題を解答させ、正答率を上げるようにさせる。 既習事項の内容でも理解が 不十分なところがあれば各自把握させる。	事前に範囲を提示し、単元ごとの 小テストを授業の初めに毎回行い、 理解度を評価する。	2
	東加討中ルンのイナイオル	入試の過去問題を解答させ、正答率を上げるようにさせる。 既習事項の内容でも理解が 不十分なところがあれば各自把握させる。	事前に範囲を提示し、単元ごとの 小テストを授業の初めに毎回行い、 理解度を評価する。	2

	指導内容	英語表現 II 具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
	形容詞・副詞中心のイディオム	入試の過去問題を解答させ、正答率を上げるようにさせる。 既習事項の内容でも理解が 不十分なところがあれば各自把握させる。	事前に範囲を提示し、単元ごとの 小テストを授業の初めに毎回行い、 理解度を評価する。	2
	名詞中心のイディオム	入試の過去問題を解答させ、正答率を上げるようにさせる。 既習事項の内容でも理解が 不十分なところがあれば各自把握させる。	事前に範囲を提示し、単元ごとの 小テストを授業の初めに毎回行い、 理解度を評価する。	2
10 月	定期考査			1
	前置詞中心のイディオム	入試の過去問題を解答させ、正答率を上げるようにさせる。 既習事項の内容でも理解が 不十分なところがあれば各自把握させる。	事前に範囲を提示し、単元ごとの 小テストを授業の初めに毎回行い、 理解度を評価する。	2

	指導内容	英語表現 II 具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
	会話表現	入試の過去問題を解答させ、正答率を上げるようにさせる。 既習事項の内容でも理解が 不十分なところがあれば各自把握させる。	事前に範囲を提示し、単元ごとの 小テストを授業の初めに毎回行い、 理解度を評価する。	2
	会話表現	入試の過去問題を解答させ、正答率を上げるようにさせる。 既習事項の内容でも理解が 不十分なところがあれば各自把握させる。	事前に範囲を提示し、単元ごとの 小テストを授業の初めに毎回行い、 理解度を評価する。	2
月月	語彙·多義語問題	入試の過去問題を解答させ、正答率を上げるようにさせる。 既習事項の内容でも理解が 不十分なところがあれば各自把握させる。	事前に範囲を提示し、単元ごとの 小テストを授業の初めに毎回行い、 理解度を評価する。	2
	発音・アクセント	入試の過去問題を解答させ、正答率を上げるようにさせる。 既習事項の内容でも理解が 不十分なところがあれば各自把握させる。	事前に範囲を提示し、単元ごとの 小テストを授業の初めに毎回行い、 理解度を評価する。	2

	指導内容	英語表現 II 具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
	定期考査			1
	人 試問制油名	入試の過去問題を解答させ、正答率を上げるようにさせる。 既習事項の内容でも理解が 不十分なところがあれば各自把握させる。	事前に範囲を提示し、単元ごとの 小テストを授業の初めに毎回行い、 理解度を評価する。	2
12 月	人 試問部:重容	入試の過去問題を解答させ、正答率を上げるようにさせる。 既習事項の内容でも理解が 不十分なところがあれば各自把握させる。	事前に範囲を提示し、単元ごとの 小テストを授業の初めに毎回行い、 理解度を評価する。	2

	指導内容	英語表現 II 具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
月				

	指導内容	英語表現 II 具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
				+
2				
月				

	指導内容	英語表現 II 具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
3				
月				